

家庭料理テイクアウトの「マチルダ」、シリーズBで総額4.1億円の資金調達を実施。新たにオリエンタルランド・イノベーションズ、POLA ORBIS CAPITALが参画

毎日の中に、ちょっとした楽しさを。体験価値の仕組み化と、生活者価値の最大化を加速



「子どもが無邪気でいられる社会を創る」をミッションに、街に溶け込む新しい中食サービス「マチルダ」（以下 マチルダ）を提供する株式会社マチルダ（本社：東京都江東区、代表取締役：丸山由佳、以下 当社）は、シリーズBラウンドにおいて総額4.1億円のエクイティ資金調達を実施いたしました。

本ラウンドは、ロッテベンチャーズ・ジャパンがリード投資家として参画し、新たなパートナーとして、オリエンタルランド・イノベーションズおよびPOLA ORBIS CAPITALを迎えています。当社は、両社が持つ知見も取り入れながら、マチルダの顧客体験価値を再現性高く届けるための仕組みづくりと、生活者価値の最大化を目指します。

また、今回調達した資金は、より多くのご家庭に安定しておいしい夜ごはんを届けるため、体験品質の向上と再現性を支える基盤づくりに活用してまいります。その一環として、3拠点目となる新たなセントラルキッチン の設営や、品質を支える人材の採用強化を進めていく予定です。

当社は今後も、子育て家庭を中心としたより沢山のお客様に、「今日の夜ごはんがちょっと楽しみになる」体験をお届けして参ります。

当社が投資家とともに目指す世界観について

当社は、「子どもが無邪気でいられる社会を創る」というミッション実現に向け、家庭料理のテイクアウトサービス「マチルダ」の提供を通して、夜ごはんを単なる食事ではなく子どもや家族の日常を豊かにする“体験コンテンツ”として提供してきました。

サービス開始から約5年が経ち、ステーション数は40を超え、1日の提供食数も4,500食へと拡大するなかで見えてきたのは、体験の質を高め続ける重要性和、「どこでも・誰が関わっても同じ体験価値を届けられる再現性をどう担保するか」という課題です。

今回の資金調達には、こうした背景を踏まえ、マチルダの体験価値を次のフェーズへ引き上げるためのものです。調達した資金は、3拠点目となる新たなセントラルキッチンの設営や、体験品質を支える人材の採用強化など、事業基盤の拡充に活用してまいります。

さらに、新たに参画いただいたオリエンタルランド・イノベーションズおよびPOLA ORBIS CAPITALには、資金面での支援にとどまらず、体験価値を高め続けるための考え方や仕組みづくりの面で伴走いただきます。日常の中にある小さな体験を、誰が関わっても、どの場所でも同じ価値として届け続けるために、両社の知見を取り入れながら、マチルダならではの体験価値を磨いていきます。

<オリエンタルランド・イノベーションズ参画の背景、意義>

本ラウンドで新たに参画したオリエンタルランド・イノベーションズは、「夢・感動・喜び・やすらぎ」のある社会づくりを掲げ、新たな事業創出を目的にベンチャー企業等への出資を行うコーポレート・ベンチャー・キャピタルです。

マチルダが今回の参画において強く共感したのは、感動や喜びは偶然生まれるものではなく、徹底したオペレーションと仕組みによって、再現性高く生み出されるものだという考え方です。

日常の中で体験価値を届け続けるためには、オペレーション構築、標準化、教育、改善の積み重ねが欠かせません。オリエンタルランドグループが強みとしている圧倒的なオペレーション構築力は、まさにマチルダがこれからの成長フェーズで取り込みたい知見そのものです。

今回の出資を通じて今後の連携を検討し、マチルダの体験価値を仕組みとして磨き上げていくことを目指していきます。

■コメント：オリエンタルランド・イノベーションズ 代表取締役社長 麻島 万暉 氏

子育て家庭を中心に多くの人々が日常的に抱えている食に関する課題解決や、イベントの企画・運営による体験の提供を通じて「子どもが無邪気でいられる社会を創る」マチルダの取組みに大変共感し、支援ができればという想いで出資をさせていただきました。マチルダの事業は、弊社グループが大切にしているオペレーションや体験設計に重きを置いており、共に事業を創っていくパートナーとしての親和性も感じています。マチルダのミッション実現に向け、伴走者として価値創出に貢献してまいります。

<POLA ORBIS CAPITAL参画の背景、意義>

同じく新たに参画したPOLA ORBIS CAPITALは、生活者視点に立った価値創造や、長期的なブランド・顧客体験の構築に強みを持つ投資家です。

日常に寄り添うプロダクトやサービスを通じて、生活者一人ひとりの価値を最大化してきた知見は、マチルダが提供する夜ごはん体験を、より豊かで、より長く愛されるものへと進化させるうえで大きな示唆をいただけるものと考えています。

■コメント：POLA ORBIS CAPITAL ベンチャーキャピタリスト 前澤 早紀 氏

この度、株式会社マチルダのシリーズBラウンドに参画できることを大変光栄に存じます。子育て家庭にとって「毎日の夜ごはん」は、日常の中心にある体験です。単なる利便性にとどまらず、家族の会話を生み、子どもの好奇心を育む土台にもなり得ると考えております。

マチルダが掲げる「子どもが無邪気でいられる社会を創る」というミッションのもと、家庭料理のテイクアウトを“体験コンテンツ”として設計し、日々の楽しさへと昇華されている点に、強く共感いたしました。

また、ステーション運営やセントラルキッチンの整備を通じて、どの場所でも一貫した体験価値を届けるための再現性を高めていく動きは、今後の成長において大きな強みになると感じています。代表の丸山様が、想いに留めることなく、仕組みとして実装し続ける行動力にも深く惹かれております。POLA ORBIS CAPITALとして、生活者価値と顧客体験を磨き続ける伴走者として、チームの皆さまとともに全力で支援してまいります。

今回の引受先一覧（敬称略、順不同）

- ロッテベンチャーズ・ジャパン
- Future Food Fund
- 三菱UFJキャピタル
- POLA ORBIS CAPITAL
- オリエンタルランド・イノベーションズ

当社 代表取締役 丸山由佳よりコメント



当社は、子どもたちやご家庭の日常に寄り添いながら、「毎日の夜ごはんがちょっと楽しみになる」体験を届けてきました。事業を続ける中で強く感じているのは、体験価値は想いだけでは続かず、再現性を支える仕組みがあってこそ、初めて多くの方に届けられるということです。

オリエンタルランド・イノベーションズ、POLA ORBIS CAPITALという新たなパートナーを迎えられたことを、大変心強く感じています。感動をつくり続けるためのオペレーションの考え方や、生活者価値を見つめ続ける姿勢を学びながら、マチルダらしい体験価値をさらに磨いていきたいと考えています。

これからも、子どもが無邪気でいられる社会の実現に向けて、日常の中に小さな楽しさと安心を届け続けてまいります。

マチルダについて

マチルダの夜ごはんは800種類以上のメニューがあり、季節のイベント献立や、違う国の文化や社会課題などを知るきっかけとなる献立など、子どもたちの「楽しい!」「食べてみたい!」につながる“コンテンツとしての「食」体験”を提供しています。さらには、マチルダのステーションでのごはんの受け取りやステーションスタッフとのコミュニケーション、配布物をきっかけにした食卓での会話、企画に参加した思い出など、すべての体験が「子どもが無邪気でいられる社会を創る」というミッションの実現に繋がると信じています。

子どもたちの「食べてみたい！」につながる 800種類以上の楽しい献立



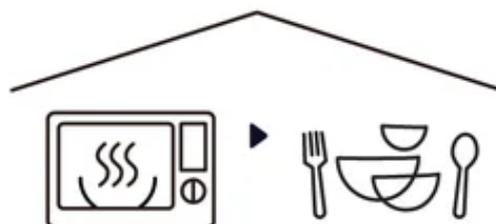
注文は全てLINEで完結し、ご家庭に合わせた頻度と量で、日替わりの家庭料理を受け取ることができます。当日の注文も数量限定で各日7:00~13:00まで承っており、一食分から気軽にご利用いただけます。



生活スタイルに合わせて
プランを選択



ご指定のステーションで
お受け取り



おうちで温めて

おいしく召し上がれ

- ご利用はこちらから: <https://matilda.kitchen/>

マチルダ
Matilda

株式会社マチルダについて

- 所在：東京都江東区辰巳2-4-4 Imas Canalside 5階
- 設立：2021年1月27日

- ・代表：代表取締役 丸山由佳
- ・事業内容：家庭料理のテイクアウトステーション「マチルダ」の開発及び運営
- ・コーポレートサイトURL：<https://matilda.kitchen/about>

本件に関するお問い合わせ先

取材や提携のご連絡は、pr@atmatilda.com までご連絡ください。

※ 本プレスリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。

株式会社マチルダのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/93471

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社マチルダ 広報担当：福沢

メールアドレス：pr@atmatilda.com